



# 小児科ニュースレター



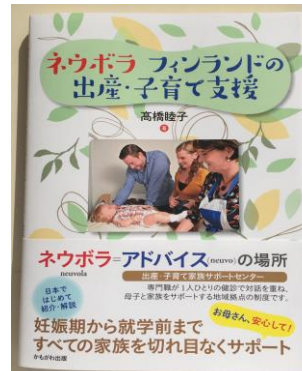
## インフルエンザ流行期に入りました

信濃町にもいよいよインフルエンザが流行りだしました。今年もA型、B型両方の患者さんが同時に出ています。どちらかになったからといって、もう一方にかからないというものではありません。また、ワクチンは感染を100%防ぐものではありません。接種していても気をゆるめず、予防につとめてください。



## ～ネウボラのような支援を～

岡山県にある吉備国際大学保健医療福祉学部教授（福祉政策論）の高橋睦子先生から新刊の『ネウボラ フィンランドの出産・子育て支援』をいただきました。高橋先生には平成25年にカイヤ・プーラ先生（フィンランド、タンペレ大学）とのシンポジウムでお会いし、フィンランドの素晴らしい子育て政策について教えていただきました。（ニュースレター15号でご報告しました。）あれから3年、信濃町では病院、町役場（教育委員会、住民福祉課）、保育園、学校が連携し、生まれる前から成人するまで子どもと家庭を支えていくシステムの構築を進めています。その目指すところはフィンランドのネウボラと同じです。2月5日の信濃毎日新聞に、「ながの版ネウボラ開設」という記事がありました。長野市の2ヶ所の保健センターに作られるそうです。信濃町も長野市に負けていませんよ。ご期待ください！



↑高橋睦子先生と  
←高橋先生の著書：中待合の書棚にあります。ご覧ください。

ネウボラはフィンランド語で「助言・アドバイスの場」を意味します。日本の保健センターと似ていますが、妊娠期から個別に、継続的にサポートし、母子だけでなく、家族全員（父、きょうだいと一緒に）での総合健診も出産後数回行われます。乳幼児の世話・接し方、母親の心身の健康維持、母子愛着・関係性発達、子育て・親業、子どもの予防接種、発達検査、家族全体の調和について、それぞれの家族にあわせて具体的に直接のサポートをします。さらに専門的な支援が必要な場合もネウボラから紹介してもらえます。家庭を健全に育むために必要な情報を手に入れることが出来る「出産・子育て家族サポートセンター」です。（『ネウボラ フィンランドの出産・子育て支援』より一部抜粋、要約）



小児科外来の入り口の掲示版に、季節の飾りを色紙で作って飾っています。当外来勤務の池田看護師の手作りです。上手でしょう。感想お聞かせください。



## 外来時間のご案内

受付時間		月	火	水	木	金				
午前	8時15分 - 11時30分	○	○	○	○	○				
	診療開始は8時45分									
午後	1時 - 2時	△	△	△	△	△				
	2時 - 3時						予防接種 (予約制)	相談外来 (予約制)	相談外来 (予約制)	予防接種 (予約制)
	3時 - 3時30分						○			○
	3時30分 - 4時15分						△		○	△

## 【休診】

2月：8日 23日（記載のないのは一日休診）  
3月：9日(午前)、17日、22日、28日(午後)

## 【信濃小中学校訪問】

2月10日、3月2日：13時～15時  
生徒、保護者のご相談を受けます。申し込みは学校へ

午後の診療は混みあうため、待ち時間が長くなっています。午前の受診をお勧めします。

